

向日葵

ひ ま わ り

第27号

平成31年3月12日発行

発行所
三条市農業委員会



「いっぱいとれたよ」

あらさわ保育園では、栗ヶ岳や八木鼻を間近に臨み、冬には白鳥も訪れる自然豊かな環境の中で子どもたちを育てています。保育園の周りには田んぼや畑が広がり、四季折々の自然の恵みを目にする機会も多くあります。

そんな中で保育園でも、今年度はゆり組（5歳児）が野菜づくり、ばら組（4歳児）が稲作りに取り組み、年齢に応じて子ども達のできる作物づくりを楽しみました。

ゆり組の野菜づくりでは、子どもたちが自分の育てたい野菜の苗（ピーマン、ナス、ミニトマト、とうもろこし、枝豆、きゅうり）を買いに行つて園庭の中に作つた畑に植えました。水やりもみんなで行い夏の収穫期には、新鮮な野菜を収穫し、給食の食材に加えてみんなで食べました。また、サツマイモ（苗）、さといも（種芋）、大根（種）も植えて育て、11月にサツマイモはホクホクの焼き芋にしてみんなで食べ、12月には大根を47本も収穫し、みそ汁、煮物、おでんなど給食の食材として味わいました。

ばら組は、バケツを使って稲作りをしました。昨年は猛暑で水やり加減など稲作りが難しく枯れそうになりましたが、近所の佐藤さんからいろいろ教えていただいたり、水やりを手伝っていただいたりして、無事収穫することができました。11月には新米をおにぎりにしてみんなで美味しくいただきました。

自分たちで野菜や稲を育てたことで、収穫の喜びを味わったり、今まで苦手だったものも食べるようになったりなど、子どもたちにとってはとても良い経験になりました。

これからも土に親しみ、食育の一環として美味しい作物づくりを大いに体験していきたいと思っています。



農業への挑戦



三条 高野 弘明

『洋梨栽培名人』の 高野さんを訪ねて

梨栽培の八割をル・レクチュエ栽培されている秋島の高野弘明さんを訪ねました。

・いつ頃から農業をされてこれたのですか？
私は、今54歳ですが、20歳の時に就農しました。
父親が早く亡くなり祖父も倒れ、30年前から一人で農作業を行ってきています。
梨畑を規模拡大出来たことは、



たまたま大島頭首工・大島工業団地ができ、また、その他の工事で出た残土で田を埋めて梨畑を増やせました。

昨年植替えたル・レクチュエの畑含めて115アールの作付面積で、内訳はル・レクチュエ90アール、日本梨20アール、花粉取り用の長十郎が5アールです。また、良いことだけではなく、堤外地の約10アールのル・レクチュエの畑は、2度の信濃川の洪水被害にあい、また、昨年は雪害では大部分の木がダメになりました。さらに、10年前には、まだほとんど知られていなかった褐色斑点病でル・レクチュエの果実がほぼ全滅しました。そして、現在は原因不明の果実が透き通る水浸果が発生して悩んでいます。しかし、その度に農家仲間や色々な方々から助けられ、今までル・レクチュエを生産してくる事ができており、本当に感謝しております。

このように、生産には課題の多い梨ですが、農業改良普及所・各関係機関などの力を借りて解決していったらと思います。
今は、昨年植替えたル・レクチュエに対し、新しい技術のジョイント栽培を取り入れて始めた所です。

下田 協力隊

「しただ塾とコラボで 逸品を作る」 エゴマチョコレート開発中！

●きっかけは「しただ塾」

現在、協力隊の中で開発が進んでいる「エゴマチョコレート」ですが、発案のきっかけは「滞在型職業訓練施設しただ塾」の塾生でした。

県外から下田に3か月間滞在し農業と6次産業化を学ぶ彼らにとって、下田はまさに「食材の宝庫」でした。下田のお米を食べて、「お米はこんなに美味しいものなのか」と感動し、生で食べる野菜に感嘆する日々。そんな中、農業6次産業化を学ぶ彼らにNPOソーシャルファームさんじょうの柴山理事長がこんな言葉を投げかけました。
「下田のエゴマを使用して何かできないか？」

この言葉がきっかけに、しただ塾生と地域おこし協力隊下田チーム（NPOソーシャルファームさんじょう）で昨年10月エゴマを使ったチョコレートを試作し、修

冬場は剪定で忙しい時期にも関わらず、色々とお話をして頂き有難うございました。

高野さんは水田も持ちのようですが同地区の人達に委託され、梨の専業農家です。115アールの作付面積も凄いです。当然、収穫量も多い訳で、大型のトラックのアルミ保冷車の荷台を作業場の中へ設置し（荷台を先に設置し、後で外壁・屋根付け、また、満量が5〜6台分の出荷量だとか）、温度設定で追熟期間を調整して出荷しているようです。
年中無休で剪定から収穫、出荷に至るまでフル稼働。夏の一時だけ少し暇になるとか。
日本の洋梨の作付は64%がラ・フランスで、9%がル・レクチュエであり、そのル・レクチュエの内、8割が新潟市南区・加茂市・三条市の北部にと、栽培の難しい果実なのが分かります。

高野さんは、天災や失敗など、何度も繰り返されてきたようですが、今なお前向きに技術改良を取り入れて良質のル・レクチュエ作りに励んでおられます。
これからも、頑張っていたきたいと思っています。

栄 森山 マサ子

『ただいまーと』の 人気者を訪ねて

にいがた南蒲農業協同組合のただいまーとでトップクラスの人気がある出荷者の貝喰新田の森山マサ子さんを1月に訪ねました。

・今はどんな野菜を出荷していますか？
小松菜など葉ものが終わり、今はハウス大根ですね。その後は5月に出荷する野菜苗の準備で種まきや苗床作りです。苗は主力のトマトだけでも3万ポットほど出荷しています。

・森山さんの野菜はどれも色、艶が良く小松菜などは根元がきれいでみずみずしいことで特に評判ですが、気を付けている点は？
不良品を出さないこと。それには私がお客様の立場に立って、お金を払って買ってもらえるものだけを出すようにし



ます。そして「エゴマチョコレート」味に関して言えば、炒ったエゴマの香ばしさとサクサク感でチョコレートとの相性は抜群で、イベントでの試食会などで高評価を頂いております。

●まずはワークショップやアスリートフードでPR

現在、地域おこし協力隊がストーリー付けやパッケージデザイン、展開方法を考え商品化を目指しています。直近の計画としてはワークショップを通して、商品と下田郷のPRを進めると共に、アスリートフードに関しては、地域おこし協力隊下田チームで発足する3×3バスケットチーム「SANJO BEATERS」と連携する予定です。五輪時に続く下田の逸品第2弾エゴマチョコレートをお楽しみに！



下田地域で発掘された縄文土器をオマージュしたエゴマチョコレート。縄文土器型チョコレートのワークショップも検討中。



エゴマチョコレート開発の様子。炒ったエゴマとチョコレートを混ぜ合わせる。

一日研修 (コスト削減で収益向上を図る農業法人を訪ねて)

今回の視察研修では魚沼市の関隆さんのところにおじゃましました。農業人生40年目の関さんは、今が一番楽しく、自信を持って農業をしているそうです。

12年前に建てた、100畝規模にも対応できるという作業所内は今年購入した屋根付き田植え機、外には大型トラクター6台が勢ぞろい。

関さんは30代の時、家族で稲作・スイカ・ヒラタケの複合経営で忙しい毎日を送っていましたが、これでは先の見通しが立たないと



冬場のハウス内で栽培される大量のフキノトウの苗

考えました。そこで両親と自分だけの経営をやめ、従業員を雇い、そして通年の雇用するために園芸品目を導入しようと決断。

「稲作を柱としてやっていくには、従業員一人当たりの栽培面積を10町歩(10畝)、売上げは1,500万が最低限必要だと考えている。つまり、3人なら30町歩(30畝)の面積と売上げが必要ということだ。これを確保できないなら、ハウスを建てて園芸を導入し、売上げを確保する必要がある。またこれからの農業は雇用確保が難しくなると思う。他産業並みの条件にするため、うちでは週休2日制を導入した。これからも継続して安定的に経営していくために、頑張るよ」

現在、関さんは3名を雇用し、家族を入れて6名体制で60町歩(60畝)の水田や畑などを管理しています。研修日当日も従業員は野菜の洗浄作業に追われていました。

また新たな取り組みとして昨年、農業資材も扱うホームセンターと組んで生産コストの削減に挑戦。「収益向上試験農場」と名付けた1ヘクタールの田んぼで、ホームセンターから購入した割安



の肥料や農薬を使用しました。減反政策の最後となった昨年までは、化学肥料や農薬を通常より5割以上減らす「特別栽培」にも注力。その一部が減反と見なされるのが魅力でしたが、特別栽培は肥料や農薬が指定されて結局コストがかかる事に。減反に伴う国の補助金がなくなった今年は、通常栽培に軸足を移しました。いろいろな取り組みをされている関隆さん、今は息子さんの裕也さんに経営を任せていますが、まだまだこれから農業経営の最前線を突き進むという意気込みを話してくれました。



全国農業新聞

発行日 毎週金曜日(月4回)
購読料 月額700円(送料・税込)
申込先 農業委員会事務局
電話: 34-5635
(毎月15日までの申込みで、翌月から送付いたします。)

第1調査部長に就任して

第1調査部長
渡邊 一英



農業委員に選ばれて三期目に成りました。農業委員では年二回農地パトロールをして

いますが、年々耕作放棄地と思われる圃場が増えていきます。大きな要因は、長年にわたり実施された減反政策ですが、最近では高齢化や大規模化によるコスト削減のため、手間の掛かる圃場は敬遠される等、色々な事で耕作しない圃場が増える事は、隣接する圃場には大きな問題です。また、病害虫や雑草が蔓延する原因になりますし、この様な農地は出来るだけ適正な管理をお願いします。

今ある農地は、昔の人が原野を血のにじむ努力をして作り上げた農地です。私たちは次の世代に残さなければならぬ義務を負っています。また、農地は食料を生産する工場です。農業委員会での活動を通して、優良農地が守られるよう、努力したいと思っています。

三条市農林関係施策の市長要望

農業委員会は11月7日、國定市長に平成31年度三条市農林関係施策の要望を行いました。

農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化・担い手不足・農産物の価格の下落・肥料や資材の高騰に加えて、国は、平成30年産から米の直接支払交付金や行政による生産数量目標の配分を廃止し、農業者自身が必要に応じた生産・販売を決定し、経営の自由度の拡大を目指すとしていくところですが、農業の持続的な発展に向けては、農業者が将来展望を持つて農業経営に取り組めるよう、制度の構築を行っていく必要があります。

このような情勢の中、農業経営の安定化を図り、意欲ある担い手を育成し、地域農業の持続的な発展を促すため、食料・農業・農村に関する諸課題への取組をさらに進めていく必要があります。

農業委員会におきましても、農業者の公的代表的機関として、農地を守り、担い手への農地利用の集積・集約化をはじめとする農地利用の最適化を推進するなど、農地法等で位置付けられている役割、機能を果たすべく、市及び農業関係機関・団体と密接な連携を図り、より一層の取組を進めてまいります。

農業・農村は食料供給をする機能に加え、水源の涵養、美しい景観の保全など多面的機能を有しています。その様々な機能や価値を維持する農業者が持続可能な農業を確立し、三条市の農業が魅力ある産業として発展できるよう、次のとおり平成31年度の農林関係施策について要望しました。

要望項目は次のとおりです。

- 1 地域農業の活性化対策について
- 2 担い手の確保・育成・支援について
- 3 農林土木施設の整備について
- 4 「環境にやさしい、安心・安全な農業」について
- 5 米政策の着実な推進について
- 6 地産地消・食農教育の推進について
- 7 果樹栽培農家に対する助成措置について
- 8 有害鳥獣駆除対策について
- 9 林業の振興について
- 10 農業委員会活動について

要望に対して、國定市長は、「限られた財源ですが、来年度の予算編成の中でどこまでできるかしっかり考えていきたい」、「国や県事業の要望が多いため、皆さんと力を合わせて少しでも改善して行きたい」と、お答えをいただきました。



平成31年度 農作業賃金・機械作業料金等標準額

平成31年度の農作業賃金及び機械作業料金等の標準額を次のように定めましたので、お知らせします。
平成31年 3 月

三条市農業委員会

※農業委員会で設定した賃金及び機械作業料金等は標準額です。

※ほ場の条件等により、双方の話し合いで決めてください。

※機械作業料金・機械運搬料・育苗の金額は、上段は消費税（8％）込み、下段（ ）内は消費税抜き
の料金です。

	区 分	単 位	金 額 (円)		備 考
賃金	一 般 作 業	8 時間	7,600		果樹作業は8,000円 学生アルバイトは6,500円
	区 分	単 位	20a区画未満	20a区画以上	備 考
機械作業料金	耕 起	10 a 当り	6,700 (6,204)	6,000 (5,556)	
	代 か き	10 a 当り	7,700 (7,130)	6,900 (6,389)	
	機 械 田 植	10 a 当り	7,200 (6,667)	6,500 (6,019)	苗代金は別途
	コ ン バ イ ン 刈 取	10 a 当り	20,600 (19,074)	18,500 (17,130)	倒伏等の場合は両者協議
	農 薬 散 布	10 a 当り	720 (667)		薬剤費用は別途
	粃 運 搬 費	10 a 当り	1,650 (1,528)		
	乾 燥 ・ 調 整	60kg当り	1,850 (1,713)		包装袋を除く
	機械あぜ塗り	1 m 当り	36 (33)		あぜの片面塗り
機械運搬料	ト ラ ク タ ー コ ン バ イ ン 田 植 機 運 搬	10kmまで	6,480 (6,000)		1 市内片道料金 2 キャリアカー運搬
		15kmまで	8,100 (7,500)		
		20kmまで	10,800 (10,000)		
育苗	稚 苗 硬 化 苗	1 箱 当り	780 (722)		

農業者年金に
加入しませんか

農業者年金は、農家のことを知りつくした
農家のための年金です。

農業者年金で 生涯所得の確保を!



- あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金 へは…

**国民年金
第1号
被保険者**
国民年金保険料
納付免除者を除く。

**年間60日以上
農業に従事**

60歳未満

の方ならどなたでも加入できます。

月々の保険料を大きくすることで将来の支給額を増やせます

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで(千円単位で) **加入者が自由に選択**できます。また、
保険料の額は**いつでも見直し**できます。

加入期間が短くても保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。
※脱退は自由ですが、脱退された場合でもそれまでに積み立てた保険料は、将来、年金として支払われます。



農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額(年額)の試算				
加入年齢	加入年数		保険料月額 4万円の場合	保険料月額 6万7千円の場合
40歳	20年	男性	60万円	101万円
		女性	51万円	85万円
50歳	10年	男性	27万円	45万円
		女性	23万円	38万円

※上のケースは、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.35%となった場合の試算です。制度発足以降15年間(平成28年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.77%です。
予定利率は、毎年度農林水産省告示により定められ平成30年度は0.35%です。
※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

詳しくは、三条市農業委員会事務局までお問い合わせください。
電話：34-5635(直通)



平成30年 三条市賃借料情報

- 標準小作料制度は平成21年の農地法改正で廃止されました。これに代わるものとして毎1月から12月までの1年間に締結(公告)された賃借料情報を提供しています。これは賃借料を決めるための参考であり、以前の「標準小作料」とは異なり拘束力はありません。
- 賃借料を決める際には、対象となる農地の収穫量、生産物の価格、圃場条件、土地改良費の負担などを考慮し、貸し手と借り手が充分に話し合い、納得のうえで決めてください。
- 平成30年1月から12月までに締結（公告）された賃借料です。

田（水稻）（10アール当たり）

地区名	区分	締結 件数	平 均 締 結 額	最も多い締結		最 高		最 低	
				件数	締結額	件数	締結額	件数	締結額
三条地区	金納 (円)	284	16,700	86	15,000	1	30,000	1	4,500
	物納 (kg)	23	96	5	120	1	138	1	27
栄 地 区	金納 (円)	197	17,200	57	16,000	2	23,500	1	3,000
	物納 (kg)	2	73	-	-	1	90	1	60
下田地区	金納 (円)	90	10,600	20	15,000	1	19,650	3	1,000
	物納 (kg)	111	40	38	30	1	120	1	5

- 1 締結額は算出結果の10円単位を四捨五入し、100円単位としています。
- 2 平均締結額は単純平均ではなく、締結面積を基にした加重平均としています。
- 3 畑は締結件数がごく少ないため掲載していません。

平成31年 3月
三条市農業委員会

編集後記

めずらしく雪の少ない冬となった今年、農作物への影響が心配されますが、山間部で通常2～3mの雪で雪下ろし3～5回の地域にとっては、ありがたい年であったのではないのでしょうか。

今回のひまわりでは、いろんなチャレンジの人達を紹介させて頂きました、ご協力有難うございました。

※ 表紙の写真は、あらさわ保育園の子ども達が収穫した様子です。



委員長 坂井 浩行 副委員長 清野 秀作 三師 満夫
委 員 小川 弘樹 田邊 敦子 佐藤 一富 井上 利弥 吉田 精一 原田 孝一